

みんなが”ヒーロー”

西原中学校一年 松本 阿子

私の村ではみんなの命を守ってくれるすごいヒーローがいる。そのヒーローは「消防団」のみなさん。でもその方達はたぶんみなさんが予想しているよりかはるかにレベルの高い仕事をしていると思う。

私は小学校のころに何回か「消防団」の仕事に関する勉強をした事がある。その中で今でも忘れられない事がある。そして心の中で

いつも心配している。それは自分の命より人の命を助けるといふ事だ。なぜ心配になるかというと、いつもヒーローは火の中に胸を張って入りこむからだ。だから私は今日も何人かが火事で亡なっていると聞いたら、その亡くなった方や消防団の方達の活動を頭にえがき、火がとて怖く感じる。ヒーローは大丈夫なのかという気持ちでいっぱいになる。だから私は最近「火事」に気をつけるようになり毎日の生活もみなおしている。そしてヒーロ

ーに、あまりたいへんな仕事をさせたくない
なあ、そして火事というものを少しでも減ら
したいなあと思っっている。

私はいつも火を使っただ後は、火を消したか
を毎日確認している。特に冬の時はいつも欠
かさず確認をしている。そんな中で私はいつ
も楽しくくらすせているわけだ。でもやっぱり
毎日、毎日火事が何十件、何百件と日本だけ
でもおきているので私はみんなが気をつけら
うーいーのになあと思っっている。自分にできる
ことはなにかと考え防火に関するポスターな
どを書いてみんなに知らせた事もある。

このように私だけではなく消防団の人達と
みんなで気を付けていき火事をなくしていき
たいという思いでいっぱいだ。

やはり「消防団」っていうものはとても大切
な存在だ。もしかすると自分達は気をつけて
いたけど火事になっってしまったという場合、
消防団の方々がいないとみんなを救えないか
らだ。火事をなくそうといつもみんなに声を

かけておられる。そしてなによりもどんな火災であろうと必死だ分らだ。そういう所はだれもまねはできないのですぞいと思う。

こういう人達がたくさんいる私の村はとてもいい所だなのと思っっている。そしてとても勇気づけられる。だから私達もも。と今日からでも毎日の生活を気をつけ、みんなが「ヒーロー」になったらいいなと思う。